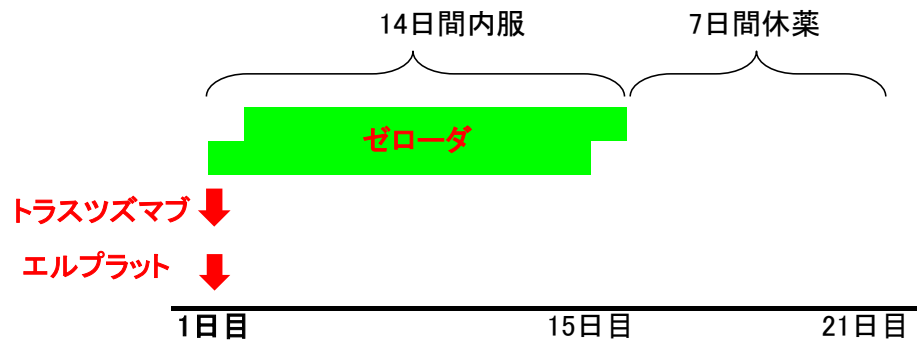



レジメンと主な副作用の指導内容

★治療スケジュール(Trastuzumab+Xelox療法)

下記の治療を3週間毎に繰り返します。



内服

お薬の名前	用法用量	投与日	お薬の作用
ゼローダ 	1日2回 朝・夕食後 1回 錠	/ 夕食後 ~ / 朝食後	抗腫瘍薬

点滴

時間	お薬		お薬の作用
90分 ※1	トラスツマブ 生理食塩水	【8mg/kg】mg 250 mL	抗腫瘍薬
30分	パロノセトロンバッグ デキサメタゾン	0.75 mg/袋 6.6 mg	吐き気予防 アレルギー予防
120分	エルプラット 5%ブドウ糖液	【130mg/m ² 】mg 250 mL	抗腫瘍薬

※1 :2回目以降は【6mg/kg】mgに減量し、30分に短縮します。

★注意事項

- ※ゼローダには休薬期間があるので注意して下さい。
- ※現れる副作用は個人差があります。右記の副作用以外にも気になる症状が現れた場合は相談して下さい。
- ※抗がん剤投与中に点滴・注射部位が痛んだりはれたりした場合はすぐにお知らせください。
- ※血液検査の結果や副作用の現れ具合によってお薬が延期・減量・休薬・中止になる場合があります。

★副作用

- アレルギー反応 (エルプラット点滴中~)
さむけ、頭痛、かゆみ、咳、息苦しさ、喉のイガイガなどの症状が現れた場合は、すぐにお知らせください。
- 注射時反応 (トラスツマブ点滴中~)
点滴開始後に発熱、さむけ、発疹などの症状が現れることがあります。また、吐き気や頭痛、倦怠感などが起こる場合もあります。特に初回に多いと言われていています。症状が現れた場合はすぐにお知らせください。(予防のため、初回のみロキソプロフェンを服用します)
- 血管痛 (エルプラット点滴中)
温めると和らぐことがありますので、症状が現れた場合はすぐにお知らせください。
- 吐き気 (当日~)
- 味覚異常、臭覚過敏 (当日~)
- 便秘 (当日~)
- 末梢神経障害
手、足、口、喉のまわりにしびれや痛みが現れる場合があります。喉が締め付けられるような感覚が現れることもあります。これらの症状は冷たいものを触ったり飲食したりすることで出やすくなります。また、治療を継続することで、慢性的なしびれも出現することもあります。
- 手足症候群
手のひらや足の裏がヒリヒリ・チクチクする、赤く腫れる、ひび割れや水泡が現れることがあります。痛みがある場合は申し出てください。ゼローダ内服中は手足の保湿を心がけてください。
- 皮膚症状
発疹、皮膚の乾燥、ひび割れが起こることがあります。皮膚を清潔に保ち、保湿を心がけ、刺激を与えないようにしてください。
- 口内炎 (1~2週間ごろ)
普段からうがいなどで口の中をきれいに保ってください。
- 下痢
腹痛や1日4回以上の下痢、水様便、夜中に下痢が継続する場合はお知らせください。
- 間質性肺炎
咳・息切れ・息苦しい・発熱などの症状が現れることがあります。
- 骨髄抑制 (1~2週間ごろ)
白血球、赤血球、血小板など血液成分が減ることがあります。
→白血球減少時は感染症にかかりやすくなりますので、手洗い・うがい・マスク着用を心掛けてください。
値によっては増やす薬を使用することがあります。
→赤血球減少時は貧血症状が起こりやすくなり、血小板減少時は血が止まりにくくなります。